

抗ヒストン H2B (*S. pombe*)抗体、ウサギ抗血清

63-125 50 µl 63-126 250µl

真核生物では DNA は高度に保存された 4 種類のヒストン (H2A H2B H3 H4) との相互作用によってヌクレオゾーム構造として折りたたまれている。ヒストンは多様なシグナル伝達のターゲットとしてリン酸化、アセチル化、メチル化、ADP-リボシル化など種々の翻訳後修飾を受けて機能が調節されている。

用途 (詳細は下記文献を参照)

- 1) Western blotting (1000 倍希釈).
- 2) 免疫沈降 (CHIP アッセイ).

抗原: 分裂酵母 histone H2B の N 末配列 SAAEKKPASKAPAGKA の合成ペプチド

反応性: 分裂酵母ヒストン H2B

抗体: ウサギ抗血清 (0.05 % sodium azide 添加)

保存: 4°C (長期 -80°C)

データリンク Swiss-Prot [P04913](#)

文献: 本抗体は下記の論文で使用されている。

1. Maruyama T *et al* "Histone H2B mutations in inner region affect ubiquitination, centromere function, silencing and chromosome segregation." *EMBO J* **25**: 2420-2431 (2006)

PMID: [16688222](#)

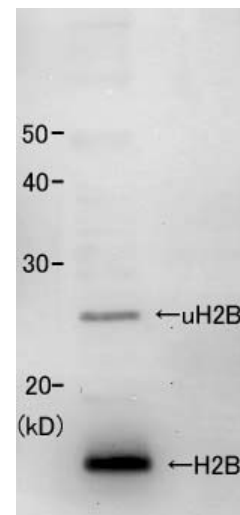


図 1 抗ヒストン H2B 抗体を用いた分裂酵母抽出液におけるウェスタンブロットニング

17kD のバンドは非就職ヒストン H2B、24~25kD のバンドはモノユビキチン化ヒストン H2B に相当する (文献 1 参照)